

# かだったんせ



令和2年8月15日発行

## ～大雄支えあいネットの今後の活動について～

☆ みんなが主役 見つけて つないで 支えあう ☆

今年度から、生活支援体制整備事業は体制の強化を図ることとなりましたが、大雄支えあいネットの活動は、これまでと変わりなく、人と人とのつながりとなる居場所や地域資源（お宝）の発見・発掘を進めていきます。さらに、小ネットワーク会議、サロン活動、地域の伝承行事などへ積極的に参加することで、情報収集と支援を進めながら、様々な活動をタイムリーに情報提供していきます。

また、この活動は、誰もが安心して暮らせる地域をめざした取り組みの基本となるものと考えております。

情報は活動の命、今後ともみなさんからの情報提供とご協力をよろしくお願い致します。

## ～大雄地区福祉協力員会よりお知らせ～

### 地域の交流事業を応援します！

大雄地区福祉協力員会では、地域の福祉活動を応援する『地域福祉活動応援事業』を実施(募集)いたします。

#### ◎申請方法は？

事業の実施**2週間前**までに申請書の提出が必要です



#### ◎助成金は？

年度内に1地区  
**7,000円以内** 1回まで



#### ◎内容は？

町内会や集落等で行う福祉活動費の一部を助成します  
**例)地区の交流会を開催！**

#### ◎どこに相談すればいいの？

大雄福祉センターにお問合せください (☎52-3311)

地域の活動に積極的に参加することは、健康づくりや支えあ関係づくりにつながります。  
今回は、乗阿気地区や桜森地区の楽しい活動をご紹介します。

## 乗阿気いきいきサロン(7月9日開催)



代表世話人  
安藤 一幸さん

新型コロナウイルス感染症の拡大により、しばらくお休みしていましたが、みなさんからの要望もあり、開催にあたりずいぶん悩みましたが、感染防止対策として消毒、換気やマスクを着用し、今年度初めて実施しました。

今回は豪華景品を用意し輪投げを行いました。参加者は68歳～94歳、男女合わせて15人でした。

久しぶりに会館に集まったみなさんは、会話も盛り上がり笑顔も素晴らしく、十分楽しんでいただけたと思います。

乗阿気いきいきサロンはスタートして10年目となりました。  
今回は趣向を変え、輪投げを楽しみました。会場に直接景品を並べ、順番はくじ引きで、輪を投げて入った景品をゲット!!  
景品は自分のものということで、みなさん、一生懸命に狙いを定め集中していました。参加者のみなさんの笑いが絶えませんでした。



## 桜森地区納涼祭(7月11日開催)



運営委員長  
菊地 浩さん

例年、神社の草刈り作業後にバーベキューで交流を行っていましたが、今年は雨天のため草刈りは中止となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、住民同士の交流も少なくなっていたため、子どもたちのためにも例年どおりバーベキューだけは行いたいと思い、会館で感染防止対策に十分に配慮しながら親子でお肉や野菜を焼いて、焼きそばなども準備して実施することができました。

子ども9名、大人18名が参加。同じ町内でありながら1年ぶりに会う人や初めて見かける子どももいました。今後も地域交流を継続して盛り上げていきたいと思っています。

10年程前までには地区(桜森、向、鍛冶村、柏木)の運動会などがありました。人口減少などにより、運動会は開催できなくなりました。4年程前から神社の草刈り後にバーベキューで親睦を図り、納涼祭として続いています。久しぶりの交流で会話がはずみ、楽しいひとときを過ごしました。



◎大雄支えあいネット(事務局)

横手市社会福祉協議会 大雄福祉センター内 電話: 52-3311

◎横手市まちづくり推進部 大雄市民サービス課 電話: 52-3905